

## ひきこもりに笑って向き合おう！ ～元当事者と家族のキモチも聞ける～ 活動発表会！！～



### 第215回 サポートセンターの日 発表団体

#### ■九州ユースワークカレッジ 校長 大久保 大助氏

2016年「九州ユースワークカレッジ」を設立しました。

設立は、子ども達のサポートを目的に活動していた際にひきこもりの当事者がボランティアとして参加し、出会ったことがきっかけです。

その時にひきこもりの実態を知り、支援や受け皿の必要性を強く感じ、ひきこもりの若者と共に、社会課題に取り組むことで、社会参加に必要な「力」を育み、共に生きる喜びを感じられる社会を創りたいという思いでスタートしました。

門司の古民家をリフォームしたフリースペースを活動拠点に、毎週火曜日を活動の日とし、グループでの体験活動（農作業・散歩・料理・片付け・掃除・ゲーム・イベント企画など）を通じた支援を行っています。



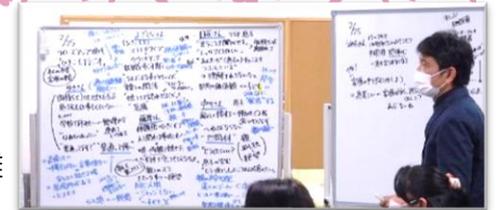
コロナ禍の中で、「不登校・ひきこもり」の状況は授業のオンライン化や対面機会の減少等により、ますます深刻な状況にあります。

その実態を知り、理解を深めるため、「元当事者」「家族」「支援団体」が一同に介し、意見を交わしました。



### 元当事者の声

- 「すべき」「ねばならない」「ちゃんとしなくてはいけない」など「普通であること」を求められることで、場面に合わせていくことが苦しくなり、ひきこもっていった。
- 親には「親」と「子」が分かり合えないことを前提に親子の距離（間合い）を理解してほしい。
- 自分の気持ちをうまく言葉に表現できない。ひきこもりになった原因がわからない。
- 自分が安心できる安全な領域にいたい。親のサポートの中で「何とかしなければ」という思いがあった。親ではない第三者と出会い、話を聞いてもらうことで、自分を少しずつ出せるようになり、ひきこもりを卒業した。



### 家族の声

#### ※不登校を考えるぽぽんたの会 代表

- 子どもが自分の作ったご飯を食べ、健康でいてくれるだけで幸せ。
- 普段の会話の一言ひとことに「お母さんは小さなジャブをいっぱい打ってくる」と言われハッとした。自分で気づかない言葉が子どもの心を追い込んでいた。
- 親の悩みを聞き、支援してくれる場がない。同じ境遇の人とお互いの経験や思いを話すことにより、「自分一人ではない」という前向きな気持ちを持つことができる。親同士で話す会に参加することで、少しずつ親自身が心を開いて子どもに向き合いながら、ひきこもりの状態を考える良い機会となっている。

★不登校を考えるぽぽんたの会★親どうして気軽に話す会です。 Mail:poponta290708@gmail.com

### 支援者の声

- ひきこもりが家族の中で完結している点が大変危ない。
- ひきこもりは、親子の距離感を考えながら、親の立場としては長い時間をかけ、辛抱強く待つことが重要である。
- 社会との接点が無くなり、自分自身を追い込んでいくので、親または本人が第三者に相談するなど、一人で抱え込まず、専門機関や第三者など誰かに助けを求め、本人を変えるのではなく、身近な環境を少し変えるなど、糸口を見つけていくことも重要ではないかと思う。

### ひきこもりに笑って向き合おう!

「元当事者」「家族」「支援団体」三者が一同に揃う機会は少なく、何気ない言動であっても立場が違えば受け止め方が違い、「思いのズレ」など三者のギャップを再認識しました。

今後は、「ひきこもり」という社会課題の理解を深めるとともに、私たちが思う「普通」とは何かを自分自身に問い直すことが大切なのかもしれません。

大久保校長は、現代社会において、「体験活動」は子ども・若者のよりよい人生のための基盤であり、これからの変化の激しい時代を生きていくためには「体験」を通じ、自ら「考え」「決め」「行動」することが必要であると考えています。

今後も、運営スタッフと共に元当事者の若者たちにも、事業の企画や運営に参加してもらい、当事者に必要なプログラムと一緒に考え、社会参加に必要な意欲とスキルを育む活動を充実していくとのことです。

★九州ユースワークカレッジ HP: <https://kyusyu-workcollege.jimdofree.com/>





## 助成金情報



助成制度名	分野	実施主体	締切
松本清張研究奨励事業	文化	松本清張記念館	3/31
第5回赤松良子ジェンダー平等基金	人権	国際女性の地位協会	3/31
2021年度ドコモ市民活動団体助成	人権	NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド	3/31
令和3年度 社会福祉施設等の整備に対する助成	福祉	公益財団法人 車両競技公益資金記念財団	3/31
まちづくりステップアップ事業	まちづくり	北九州市各区役所総務企画課	4/20
NPO公益活動支援事業	NPO	北九州市 市民文化スポーツ局市民活動推進課	4/30
2021年度FGF助成	環境	公益信託富士フィルム・グリーンファンド	5/6

※当センターの助成金コーナーに紙ベースでの情報を設置しています。  
また、**ホームページ(キラキラネット)**の「助成金情報」にも掲載しています。

右記のQRコードからご確認くださいませ。→



事前に団体登録が  
必要です。

## ロッカー利用団体の募集 (2021年度)

北九州市内で活動するNPO法人や市民活動団体等の活動支援の一環として、資料や用品類などを保管できる「ロッカー」の貸出しを行っています。



- 申込期間 3月20日(土)～3月26日(金) ※必着
- 応募条件 北九州市市民活動サポートセンターに団体登録をしているNPO法人や市民活動団体
- 利用決定 利用ロッカーは抽選により決定します。(応募多数により利用できない場合があります)  
※申込用紙は、HPキラキラネット上の「サポートセンターからのお知らせ」ページよりダウンロードできます。

【お願い】ムーブサテライトの移転および事務所内のレイアウト変更等に伴い、今年度のロッカー使用は3月25日(木)までとさせていただきます。保管物の撤収にご協力をお願いします。



## NPO法人数・新規設立法人情報



北九州市内のNPO法人数：304 団体 (令和3年2月末現在)

※市内に主たる事務所を置くNPO法人数

【新規設立法人】 令和3年2月中に認証

・NPO法人北九州ライブハウス協会

・特定非営利活動法人北九州ブライダル協会



市民活動のお悩み解決！相談&セミナー情報（無料・要予約）



法人  
対象

## 税理士相談会

会計や税務に関する相談（1団体1時間）

4月14日（水）、4月28日（水）  
17時～20時

※急きょ変更になることがあります。  
HPをご確認ください。

NPO  
対象

## NPO 入門説明会

NPO法人設立の準備を始めた方向け

4月15日（木）、4月26日（月）  
19時～20時

どなた  
でも

## サポートセンターの日

4月22日（木）  
18時30分～20時30分  
定員：20名

※ご来場の際は、感染防止のために  
マスクの着用をお願いいたします。

## 全集中！市民活動脱カタイムズ

～団体活動のヒントをお教えします～

オンライン  
配信あり

発表：サポートセンター専門相談員

現在、市民活動に取り組んでいる方や、市民活動に興味のある方に向けて、無理せず長く活動続けるコツや今後の活動のヒントをお話しいたします。

## ムーブサテライトが移転します！

令和3年4月1日（木）より、市民活動サポートセンタームーブサテライトが「北九州市立生涯学習総合センター」へ移転します。

- 名称：市民活動サポートセンターこくら（愛称：ミニサポ）
- 場所：北九州市立生涯学習総合センター 1階ボランティアルーム内  
（北九州市小倉北区大門1丁目6-43）  
※移転準備のため、3月25日（木）～3月31日（水）の間、ムーブサテライトは臨時休館いたします。  
※ご利用できる日時や機能（印刷機・ロッカー等）、予約方法の変更はありません。

## Facebook はじめました！

北九州市市民活動サポートセンターのFacebook（フェイスブック）アカウントを開いたしました。各種主催事業やイベント情報、助成金情報等をリアルタイムで発信していきます！ぜひ、「いいね！」をお願いいたします。



FBは  
こちらから

NPO・市民活動の相談窓口

### ◆北九州市市民活動サポートセンター

TEL：093-645-3101

FAX：093-645-3102

開館時間：月～土10：00～21：00

日・祝10：00～19：00

（毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始は休館日）  
北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3F

HP（キラキラネット）<http://www.kirakirakitaq.jp>

※4月から [info@kirakirakitaq.jp](mailto:info@kirakirakitaq.jp) にメールアドレスが変わります。



HPは  
こちらから

### 📄 編集後記

桜の開花が近づいてきましたね。桜を見ると心が癒されます♪春と言えば、新たな出会いの季節！みなさんにとって素敵な春となりますように！

by ていびちゃん